

次期計画策定に向けて

令和8年3月 福祉部障がい福祉室

第4期障がい者計画の 課題整理

1 第4期障がい者計画の進捗状況の照会

期間:令和7年9月30日(火曜)～10月15日(水曜)

対象:第4期障がい者計画の施策に関連する室課

内容:現行計画の施策における取組内容、進捗状況及び取組の課題や今後の方向性の確認

2 第4期障がい者計画の進捗状況の追加照会及びヒアリングの実施

期間:令和8年1月14日(水曜)～2月2日(火曜)

対象:第4期障がい者計画の施策に関連する室課

内容:1の調査に対する追加調査及びヒアリングの実施

第4期障がい者計画 対応策に対する進捗状況と引き続きの課題/新たな課題

1 日々の暮らしの基盤づくり

施策分野	対応策	進捗状況
1)生活支援	① 障がい福祉制度・サービス等とつながる相談支援体制の構築 ② 切れ目のない、谷間のない障がい福祉サービス等の充実 ③ 障がい福祉現場を支える人材の育成・確保	①障がい者・児相談支援体制整備補助金の実施 ②ニーズに応じた関係機関との連携 ③資格取得支援補助金、大学連携、魅力発信の実施
2)保健・医療	① 障がい分野に精通した保健・医療の充実 ② 精神障がい者の地域生活を支える精神保健・医療の充実 ③ 健康管理、食生活の充実に取り組む取組の実施	①医療的ケア児等コーディネーターによる助言実施 ②精神障がいのある人の地域生活を支える取組の実施 ③施設に対する栄養管理のみ実施
3)情報アクセシビリティ	① 情報提供、意思疎通支援の充実等	①手話言語等促進条例の施行に伴う取組
4)行政サービス等の配慮	① 障害者差別解消法の推進 ② ユニバーサルデザインの普及	①障害者差別解消法に基づく職員対応や合理的配慮の提供 ②行政手続の利用しやすさ向上に向けた取組を実施

施策分野	引き続きの課題	新たな課題
1)生活支援	○親なきあとの生活の場、地域移行 ○相談支援の移行期の円滑な引継ぎ、谷間へのアプローチ ○相談支援体制、アウトリーチ等の体制構築、連携、役割分担の明確化 ○安定した福祉サービス提供のための人材確保	○複雑化・複合化した課題に対応するための重層的支援体制の整備 ○意思決定支援の推進 ○ピアサポートの充実
2)保健・医療	○精神障がい者の地域移行への取組 ○移行期医療への対応	—
3)情報アクセシビリティ	○目が見えない人、字が読めない人、内容を理解することが難しい人への情報提供のあり方	○手話への理解の促進及び普及
4)行政サービス等の配慮	○合理的配慮の周知啓発	○行政サービスに限らず、民間事業者も含めた合理的配慮の提供(事業者義務化)

2 社会参画に向けた自立の基盤づくり

施策分野	対応策	進捗状況
1)療育	① 0歳から18歳まで切れ目のない療育ネットワークの構築 ② 多様な障がい特性に応じた療育環境の充実	①巡回相談や発達相談等の実施、関係機関の連携 ②障がい特性に応じた療育支援の実施
2)教育	① インクルーシブ教育の推進 ② 特別支援教育の推進 ③ 教育と福祉施策等の連携	①インクルーシブ教育や特別支援教育の推進 ②関係機関の連携による支援体制づくり ③療育等関係機関連絡会、療育システム推進協議会の開催
3)文化芸術・スポーツ等	① 文化芸術活動、スポーツ等の振興 ② 余暇支援の充実	①障がいの有無に関わらず参加できるイベントの実施 ②移動支援、日中一時支援事業の実施
4)雇用・就業	① 障がい者就労の支援環境の整備 ② 就労における個別支援の充実 ③ 福祉的就労の底上げ	①チャレンジ雇用の実施 ②障がい者就労移行支援ネットワーク会議における支援力の向上 ③庁内における優先調達の実施

施策分野	引き続きの課題	新たな課題
1)療育	○療育と教育の切れ目のない支援のための連携 ○障がい児支援における関係機関の連携体制の明確化	○妊産婦、子育て世代、子供へ一体的に相談支援を行う体制の整備
2)教育	○療育と教育の切れ目のない支援のための連携(再掲) ○インクルーシブ教育の充実	○妊産婦、子育て世代、子供へ一体的に相談支援を行う体制の整備(再掲) ○サービスの量的充実に伴う、支援の質の担保や指導・連携体制強化
3)文化芸術・スポーツ等	○文化芸術活動、スポーツ等の振興、余暇活動の充実	○バリアフリー図書の普及と読書環境の整備
4)雇用・就業	○障がい者の雇用・就業における企業等への啓発、事業者における合理的配慮の提供の啓発	○就労選択支援による、多様な就労ニーズへの対応

3 住みよい環境の基盤づくり

施策分野	対応策	進捗状況
1)生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ① 住宅の確保 ② グループホームの整備 ③ 公共交通機関、公共施設のバリアフリー化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①居住支援協議会と連携した民間賃貸住宅への入居促進 ②吹田市グループホーム整備方針の策定 ③低床バスの導入、鉄道駅舎のバリアフリー化、バリアフリー吹田市民会議の開催
2)安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ① 防災対策の推進 ② 消費者トラブルの防止及び被害からの救済 	<ul style="list-style-type: none"> ①災害時要援護者登録制度の取組実施 ②けんりサポートすいたの設置、関係機関による連携

施策分野	引き続きの課題	新たな課題
1)生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者が安心して生活できる住宅の確保 ○障がい者に配慮したまちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○希望する暮らしに対するニーズの多様化 ○心のバリアフリーの推進
2)安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ○防災・防犯対策の推進 ○成年後見制度の利用促進 ○消費者被害からの保護等の対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の情報取得、コミュニケーション支援 ○個別避難計画の作成

次期計画の検討に必要なと考えるポイント

- ・複雑化、複合化した課題への対応
- ・本人の意思や権利を守る権利擁護、意思決定支援の推進に関する取組の充実
- ・就学に向け、療育ステージ及び教育ステージのきめ細かな連携
- ・環境整備にはハード面だけでなくソフト面も重要
- ・障がい者理解や合理的配慮の普及啓発